

シート番号	8102-01	名 称	法印程運墓塔 (大聖寺初祖)
分 類	墓塔関係	場 所	人見 青蓮寺
小 分 類	住職墓塔	メッシュ番号	1815
年 号	和暦：享保8年10月20日 西暦：1723年		
形 状	五輪塔型		
サ イ ズ	高：125 c m		
画像番号	8102-01-01 (正面)	画像番号	8102-01-02 (最下段)
			
		<p style="text-align: center;">  十月廿日 </p>	
		<p style="text-align: center;">  法印程運 </p>	
		<p style="text-align: center;">  享保八癸卯歲 </p>	
<p>コメント；人見郷土誌は、明治17年の財産届け過去帳より法印聖運（青蓮寺第23世、元文2（1737）丁巳行年52歳）を享保8年卯10月28日大聖寺初祖としている。法印程運（ジョウウン）墓塔の日付を読むと、十月「廿」と「日」の間に空白があるようだ。これは何を意味するか。推測だが、何らかの理由で一文字刻印するのを忘れたとは考えられないか。もしこの一文字が「八」とすると日付が一致する。また、程運を聖運と誤記したのではないか。墓石の刻字は「程」が「聖」とも読めそうだ。過去帳が事実とすると法印聖運は大聖寺を兼務した初祖となる。</p>			